

振興会だより

北海道千歳高等支援学校
進路指導・卒後支援振興会事務局
第11号
令和3年3月12日(金)

◇頑張る気持ちをもち乗り越えて◇

校長 竹内 哲



新型コロナウイルスの感染拡大が全国的に終息の兆しが見えず、むしろ拡大が進んでいる地域もあります。北海道においてもクラスターの発生も報告され、予断を許さない状況が続いています。

このような状況の中、卒業生の方においても、その影響を受けられているのではないかと危惧しています。仕事量が減ったために自宅待機や勤務時間が縮減されたことによる経済的不利益を受けている方もいることでしょう。

道内の経済状況も業種によっては大きな打撃を受けており、企業の倒産や規模縮小による解雇などの問題が出てきています。卒業生の進路先においても、経営の厳しい企業があるようです。今後、感染拡大が早くに収束し、経済活動が以前のように活

性化することを願うばかりです。

本校の様子についてお知らせします。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、4月途中から5月いっぱい臨時休校が続きました。これほど長期にわたる休校は今まで経験をしたことがありませんでした。かつ、いつまで休校が継続されるのかわからない状況だったために、生徒の皆さんには大きな不安を与えてしまいました。6月からは授業を再開できたのですが、感染防止策をとるために短縮授業や新しい生活様式を取り入れた授業を行い、今までと違った学校生活になったため、慣れるのに時間がかかった生徒もいたようです。

また、活動内容でも市街地や校外の人が多く集まる場での活動の中止、1年生の宿泊研修の中止、学校祭の規模の縮小等、様々な変更を余儀なくされました。また、進路に関わる学習や現場実習にもスケジュールの変更等の影響が出ています。

新型コロナウイルスに対する怒りにも近い気持ちを抱かずにはいられないところではありますが、この困難な時代だからこそ、「自分でも頑張る、周りの人たちと協力して頑張る」気持ちをしっかり持って卒業生の皆さんも乗り越えていってほしいと思います。

◇「自立」と「自律」◇

会長 上野 美奈

早いもので去年の3月に卒業し、もう1年が経とうとしています。

1時間かかる通勤にも職場にも慣れてきた様子で、最近ではすっかり「自立」し立派な社会人として頑張っています。入社してから一度も遅刻、欠勤をすることもなく、在校時の先生方からのご指導、また現場実習での経験が「自律」することを学び、成長できたのだと感じています。

在学中の3年間は学校生活や進路、自立と自律していくこと全てを先生方に相談させていただき、ご指導いただきました。卒業してからはコロナウイルスの影響もあり、先生方にもお会いできず、3年間の楽しかった高校生活がとても懐かしく思えます。

今年度はコロナ禍で会長としてクローバーの会の活動も全く出来ず、申し訳ない気持ちでいっぱいです。卒業生やその保護者の皆様の心の拠り所であるこの会の活動をととても楽しみにしていたので残念です。

今後もクローバーの会のさらなる活躍と卒業生の皆さんのご活躍を心から願っています。今までお世話になった皆様、先生方、本当にありがとうございました。



◇第8回学校祭について◇

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保護者や卒業生等へ一般公開の来校を控えさせていただきました。来校を楽しみにしていた方もいらっしゃると思いますので、今年度の活動をお知らせします。

第8回学校祭は、一般公開を中止し大幅に内容を縮小した1日限りの開催となりました。ソーシャルディスタンスを意識しながら、販売活動などに取り組むことができました。

1学年は即売会、2学年はおばけ教室、3学年はオリジナルムービーやゲームセンターの企画や運営をし、全学年が生徒たちや教職員を楽しませてくれました。

全員で協力して、これまでの学習の成果を発揮し、生徒それぞれが楽しめた学校祭となりました。



◇進路指導・卒後支援振興会について◇

本校在籍の全保護者・卒後3年までの保護者が加入している会で、在校中に20,000円の会費を納入していただき、本校の進路指導や卒後支援に役立てています。本校の卒後支援は、進路指導係を中心に全校で行い、通信、訪問、行事、相談の4事業を行っています。

☆通 信（文章による支援）

○定期的に卒業生、家庭（保護者）へ便りを送り、情報の提供、行事の案内等を行います。

①卒業生へ向けて年に3回「クローバーだより」（同窓会「クローバーの会」の会報）を発行します。各行事の案内がのっています。

②家庭（保護者）へ向けて年に2回「振興会だより」を発行します。行事報告、卒後支援、福祉サービスについての情報提供等が主な内容です。※今年度はコロナウイルスの影響により、3回の発行となりました。例年通り行事等が行える場合、2回の発行を予定しております。

☆訪 問（巡回による支援）

○定期的に卒業生の進路先を訪問し、現況把握に努めます。また、卒業生、保護者、事業所、職場等からの要請があれば、必要に応じて訪問し問題に対処します。

・卒後3年は、年1～2回の訪問、その後は、相談があった場合必要に応じて訪問しています。

☆行 事（招集による支援）

○同窓会行事、同窓会入会式を企画し、卒業生を招集します。

行事を通して生活領域の拡大と趣味、スポーツ等の余暇活動の充実を図ります。

☆相 談（電話など相談による支援）

○卒業生にとって、より身近で迅速な支援を行うために、電話等での相談、連絡調整、情報提供にも随時応じています。必要に応じて進路先、家庭、関係諸機関等を訪問し問題の対処に当たります。

・全卒業生に対して行っています。悩み事や困っていることがあれば、いつでも対応しています。

◇事務局より◇

「障害基礎年金」は知っていますか。成人を迎えた20歳になると、「障害基礎年金」の対象となります。詳細については、各市町村の年金窓口にご相談してみてください。

また、職場での悩みや相談ごとなどがありましたら、進路担当までお電話ください。